

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-216553

(P2000-216553A)

(43) 公開日 平成12年8月4日(2000.8.4)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード(参考)
H 0 5 K 5/02		H 0 5 K 5/02	B 4 E 3 6 0
G 0 9 F 9/00	3 1 2	G 0 9 F 9/00	3 1 2 5 G 4 3 5
15/00		15/00	L

審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-11338

(22) 出願日 平成11年1月20日(1999.1.20)

(71) 出願人 000006611

株式会社富士通ゼネラル

神奈川県川崎市高津区末長1116番地

(72) 発明者 流郷 昌彦

川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

Fターム(参考) 4E360 AC16 AC24

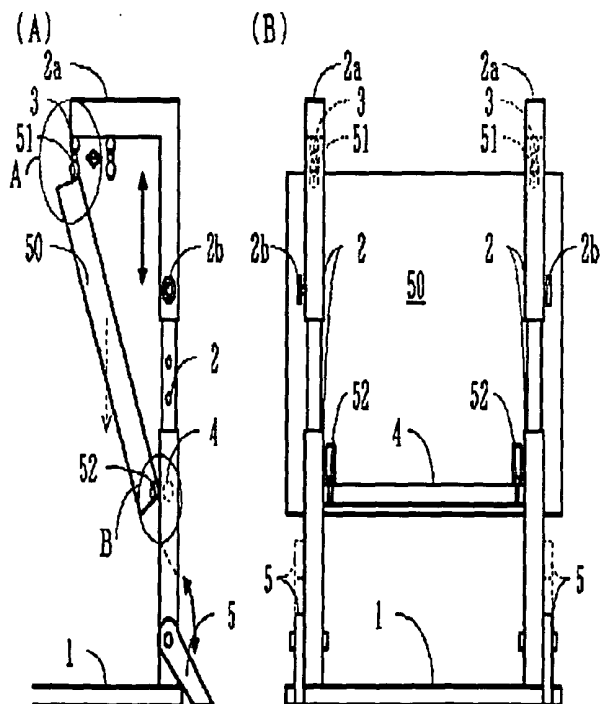
5G435 AA06 BB06 EE00 GG41 LL19

## (54) 【発明の名称】 大画面薄型表示装置用スタンド

## (57) 【要約】

【課題】 壁に傷を付けることがなく、また、背面が窓である場合でも設置可能な大画面薄型表示装置用スタンドを提供すること。

【解決手段】 床面または畳面に設置される基盤1と、同基盤に立設され上部を前方に折曲してその先端に大画面薄型表示装置50の上部係止手段51に係止して吊下する吊具3を、下部に同大画面薄型表示装置の下部係止手段52を後方に引っ張って固定する下部固定手段4を備えた2本の支柱2とでなる大画面薄型表示装置用スタンドとしたので、壁に固定する必要がない。また、前記支柱を伸縮自在に形成したので、各種外形寸法に対応できる。また、支柱を前記基盤の後方に立設し、同支柱の下部後方に回転自在に固定されるサブスタンド5を設けたので、重心を後方に置いても同サブスタンドにより後方への転倒を防止することができる。



### 【特許請求の範囲】

【請求項１】 床面に設置される基盤と、同基盤に立設され上部を前方に折曲してその先端に大画面薄型表示装置の上部係止手段に係止して吊下する吊具を備え、下部に同大画面薄型表示装置の下部係止手段を後方に引っ張って固定する下部固定手段を備えた２本の支柱とでなることを特徴とする大画面薄型表示装置用スタンド。

【請求項２】 前記支柱が伸縮自在に形成されてなることを特徴とする請求項１記載の大画面薄型表示装置用スタンド。

【請求項３】 前記吊具が前記折曲部に前後方向移動可能に取付けられてなることを特徴とする請求項１記載の大画面薄型表示装置用スタンド。

【請求項４】 前記支柱を前記基盤の後方に立設し、同支柱の下部後方に回動自在に固定されるサブスタンドを設けたことを特徴とする請求項１または請求項２記載の大画面薄型表示装置用スタンド。

【請求項５】 前記吊具が鎖で構成される一方、前記表示装置の上部係止手段が同鎖に引っ掛ける鍵状のフックでなることを特徴とする請求項１乃至請求項４記載の大画面薄型表示装置用スタンド。

【請求項６】 前記吊具が鎖の先端に鍵状のフックを設けて形成される一方、前記表示装置の上部係止手段が同鍵状のフックを引っ掛けるリング状に形成されてなることを特徴とする請求項１乃至請求項４記載の大画面薄型表示装置用スタンド。

【請求項７】 前記下部固定手段が鍵状のフックを前記２本の支柱に回動自在に取り付けられてなる一方、前記表示装置の下部係止手段がリング状に形成されてなることを特徴とする請求項１乃至請求項４記載の大画面薄型表示装置用スタンド。

【請求項８】 前記下部固定手段が前記２本の支柱の対向面に水平に突出してピン状に形成される一方、前記表示装置の下部係止手段が鍵状のフックでなることを特徴とする請求項１乃至請求項４記載の大画面薄型表示装置用スタンド。

【請求項９】 前記下部固定手段が前記２本の支柱を連結する連結体でなることを特徴とする請求項８記載の大画面薄型表示装置用スタンド。

### 【発明の詳細な説明】

#### 【０００１】

【発明の属する技術分野】本発明は、大画面薄型表示装置用スタンドに係わり、とくに、壁や窓に隣接して設置することのできるものに関する。

#### 【０００２】

【従来の技術】従来、プラズマディスプレイ（ＰＤＰ）等の大画面薄型表示装置は図５に示すように壁１０に取付金具２０を固定し、この取付金具２０にＰＤＰ５０を取り付けるようにしていた。しかし、この方法では、壁１０がないと設置できないばかりか、壁１０がＰＤＰ５

０の重量を支えるだけの強度を有していない場合はその補強が必要となり、据え付けに多くの時間と費用に係るばかりか、壁１０を傷つけてしまうため、借家の場合は設置できないという問題があった。そこで、図６に示すように、壁際の床面に設置される基盤３０に、背面を壁１０に当接して固定具３１で固定する２本の支柱体３２を立設し、同支柱体３２に連結体３３を固定し、同連結体３３の左右にＰＤＰ５０を支持する支持体３４を設けたものが考えられている。しかし、この構成では図５の従来例に比較してＰＤＰ５０の重さを壁１０で支持しないため、弱い壁にも取付できるという利点はあるが、図５の例に比較して少ないものの、壁１０に傷を付けてしまうという問題は解決されない。また、図示しないが、設置しようとする場所の背面に壁が無く、窓がある場合は設置できないという問題があった。

#### 【０００３】

【発明が解決しようとする課題】本発明は以上述べた問題点を解決し、壁に傷を付けることがなく、また、背面が窓である場合でも設置可能な大画面薄型表示装置用スタンドを提供することを目的としている。

#### 【０００４】

【課題を解決するための手段】本発明は上述の課題を解決するため、床面に設置される基盤と、同基盤に立設され上部を前方に折曲してその先端に大画面薄型表示装置の上部係止手段に係止して吊下する吊具を備え、下部に同大画面薄型表示装置の下部係止手段を後方に引っ張って固定する下部固定手段を備えた２本の支柱とでなる大画面薄型表示装置用スタンドとしている。

【０００５】前記支柱が伸縮自在に形成されてなる大画面薄型表示装置用スタンドとしている。

【０００６】前記吊具が前記折曲部に前後方向移動可能に取付けられてなる大画面薄型表示装置用スタンドとしている。

【０００７】前記支柱を前記基盤の後方に立設し、同支柱の下部後方に回動自在に固定されるサブスタンドを設けた大画面薄型表示装置用スタンドとしている。

【０００８】前記吊具が鎖で構成される一方、前記表示装置の上部係止手段が同鎖に引っ掛ける鍵型のフックでなる大画面薄型表示装置用スタンドとしている。

【０００９】前記吊具が鎖の先端に鍵状のフックを設けて形成される一方、前記表示装置の上部係止手段が同鍵状のフックを引っ掛けるリング状に形成されてなる大画面薄型表示装置用スタンドとしている。

【００１０】前記下部固定手段が鍵状のフックを前記２本の支柱に回動自在に取り付けられてなる一方、前記表示装置の下部係止手段がリング状に形成されてなる大画面薄型表示装置用スタンドとしている。

【００１１】前記下部固定手段が前記２本の支柱の対向面に水平に突出してピン状に形成される一方、前記表示装置の下部係止手段が鍵状のフックでなる大画面薄型表

示装置用スタンドとしている。

【0012】前記下部固定手段が前記2本の支柱を連結する連結体となる大画面薄型表示装置用スタンドとしている。

【0013】

【発明の実施の形態】以上のように、本発明の大画面薄型表示装置用スタンドにおいては、床面に設置される基盤と、同基盤に立設され上部を前方に折曲してその先端に大画面薄型表示装置の上部係止手段に係止して吊下する吊具を備え、下部に同大画面薄型表示装置の下部係止手段を後方に引っ張って固定する下部固定手段を備えた2本の支柱とでなる大画面薄型表示装置用スタンドとしたので、表示装置の重さを2本の支柱で支持するとともに、その重心を基盤上に置くことができるので、壁に固定する必要がない。また、前記支柱を伸縮自在に形成したので、各種外形寸法に対応できる。また、前記吊具を前後方向移動可能に取り付けたので、大画面薄型表示装置の角度を調整することができる。また、支柱を前記基盤の後方に立設し、同支柱の下部後方に回動自在に固定されるサブスタンドを設けたので、重心を後方に置いても同サブスタンドにより後方への転倒を防止することができる。

【0014】

【実施例】以下、図面に基づいて本発明による大画面薄型表示装置用スタンドを詳細に説明する。図1は本発明による大画面薄型表示装置用スタンドの一実施例を示す図で、(A)は一部透視側面図、(B)は背面図である。また、図2および図3は図1の要部拡大図である。図において、50はプラズマディスプレイ(PDP)等の大画面薄型表示装置で、図2に示すように、上部にリング状に形成された上部係止手段51および、背面下部に回動自在の鍵状フックで構成される下部係止手段52を備えている。1は床や畳60の上に配置される基盤である。2は前記基盤1に立設された2本の支柱で、伸縮自在に形成され高さ調整ツマミ2bを備えると共に、上部を前方に折曲した折曲部2aの先端に前記大画面薄型表示装置50の前記上部係止手段51に係止して吊下する鎖状の吊具3を備えている。この吊具3は折曲部2aの前後に移動可能に取り付けられており、表示画面の角度を所望の角度に調整できるようにしている。図3に示すように、この鎖状の吊具3の先端には鍵状のフック3aを備えており、前記大画面薄型表示装置50のリング状に形成された上部係止手段51に引っ掛け易くしている。4は前記2本の支柱2間を連結する連結体で、同連結体4は前記大画面薄型表示装置50の下部に設けた下部係止手段52により係止される固定部として兼用される。5は前記2本の支柱2の下部に回動自在に設けられたサブスタンドである。このサブスタンド5は背面に壁や鴨居等の転倒防止物が有る場合は上方に回動して収容し、無い場合に立てて使用するようにしている。

【0015】以上の構成において、つぎにその取付手順を説明する。図4は取付手順を示す図であり、以下同図を参照して説明する。まず、大画面薄型表示装置50の寸法に合わせて、支柱2の長さを調整しておく。つぎに、大画面薄型表示装置50の上部に備えるリング状の上部係止手段51を鎖状の吊具3の先端に備える鍵状のフック3aに引っ掛けて支柱2に吊下する。つぎに、大画面薄型表示装置50の下部を後方に押して、背面下部に回動自在に取り付けられた鍵状フックを在す下部係止手段52を連結体4に引っ掛けて固定する。以上説明したように、大画面薄型表示装置50を支柱2の上部から吊具3で吊り下げた後、下部を後方に押して支柱2に固定するので、作業が簡単であるばかりか、重心を基盤上に置くことができ、壁に固定する必要がない。また、前記折曲部2aの長さを短くして重心を後方に置く場合は、サブスタンド5を下方に回動して固定することにより、背面側への転倒を防止するようにしても良い。

【0016】以上説明したように、前記吊具3を鎖とその先端に設けた鍵状のフック3aとで構成し、大画面薄型表示装置50の上部係止手段51をリング状に形成したが、図示しないが、前記吊具3を鎖のみで構成し、上部係止手段51を鍵状のフックで構成してもよいことは説明するまでもなく理解できよう。また、下部固定手段を連結体4で兼用し、大画面薄型表示装置50の下部係止手段52を回動自在の鍵状のフックで構成したが、図示しないが、下部固定手段を別体でピン状に形成しても良く、また、下部固定手段を鍵状のフックで構成し、大画面薄型表示装置50の下部係止手段52をリング状に形成してもよいことは説明するまでもなく理解できよう。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように、本発明による大画面薄型表示装置用スタンドによれば、床面または畳面に設置される基盤と、同基盤に立設され上部を前方に折曲してその先端に大画面薄型表示装置の上部係止手段に係止して吊下する吊具を、下部に同大画面薄型表示装置の下部係止手段を後方に引っ張って固定する下部固定手段を備えた2本の支柱とでなる大画面薄型表示装置用スタンドとしたので、表示装置の重さを2本の支柱で支持するとともに、その重心を基盤上に置くことができるので、壁に固定する必要がない。また、前記支柱を伸縮自在に形成したので、各種外形寸法に対応できる。また、前記吊具を前後方向移動可能に取り付けたので、大画面薄型表示装置の角度を調整することができる。また、支柱を前記基盤の後方に立設し、同支柱の下部後方に回動自在に固定されるサブスタンドを設けたので、重心を後方に置いても同サブスタンドにより後方への転倒を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による大画面薄型表示装置用スタンドの

一実施例を示す図で（A）は側面図、（B）は背面図である。

【図2】本発明による大画面薄型表示装置用スタンドの一実施例を示す要部拡大図である。

【図3】本発明による大画面薄型表示装置用スタンドの一実施例を示す要部拡大図である。

【図4】本発明による大画面薄型表示装置用スタンドの取付手順を説明するための説明図である。

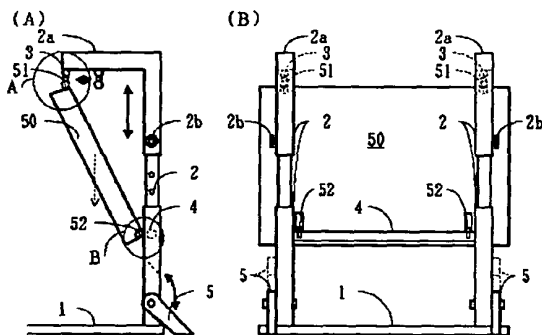
【図5】従来の大画面薄型表示装置用スタンドを示す側面図である。

【図6】従来の大画面薄型表示装置用スタンドを示す斜視図である。

# 【符号の説明】

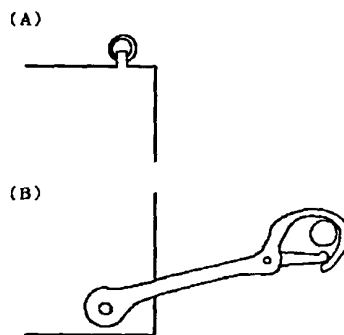
- 1 基盤
- 2 支柱
- 2a 折曲部
- 2b 高さ調整ツマミ
- 3 吊具
- 3a 鍵状のフック
- 4 連結体（下部固定手段）
- 5 サブスタンド
- 50 大画面薄型表示装置
- 51 上部係止手段
- 52 下部係止手段

【図1】



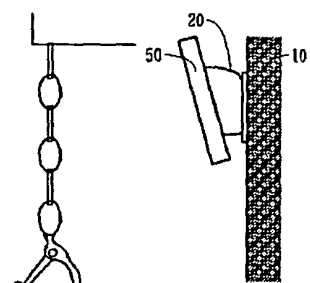
【図4】

【図2】



【図6】

【図3】



【図5】

